

令和2年度 国分寺市障害者基幹相談支援センター 相談支援スキルアップ研修等 実績

日付	カテゴリー	テーマ及び内容	対象	備考
9月17日	事例勉強会	「児童(学齢期)から成人(青年期・壮年期)へ」 ～ライフステージを通じた支援の仕組みづくり～ 計画相談における、児童から成人へ転換する事例をもとに、本人や家族、そして相談支援専門員も安心できる、ライフステージを通じた切れ目のない相談支援の仕組みづくりを目的として、勉強会を実施した。	・市内相談支援事業所	参加者:14名
10月9日	ネットワーク研修Ⅱ (障害福祉-高齢福祉)	「世帯を支える支援体制とは」 講師:石田賢哉氏(青森県立保健大学 教授) 8050問題に取組むため、自分たちの分野だけでは対応できない世帯の課題に対し、世帯にかかわる支援者の姿勢や相談のつながりの重要性等、世帯を支える支援体制について、支援の視点を共有することを目的として、研修を実施した。	・市内相談支援事業所 ・地域包括支援センター ・社会福祉協議会等 ・行政機関	オンライン研修 参加者:25名 (オンライン:22名、 会場参加:3名) 【内訳】 障害:12名 高齢:8名 地域:2名 行政:3名
12月1日	支援者向け研修	「発達障害の方の障害特性を理解する」 ～虐待防止と意思決定支援～ 講師:堀江まゆみ氏(白梅学園大学 教授) 発達障害のある方の特性とその対応方法、また障害のある方の権利を守るうえで大切な虐待防止と意思決定支援について学ぶことを目的として、研修を開催した。	・相談支援事業所 ・障害福祉サービス通所支援事業所 ・障害児通所支援事業所 ・共同生活援助事業所 ・居宅介護事業所 ・短期入所事業所 ・保育、教育関係所 ・行政機関 ・その他福祉関係者 等	オンライン研修 参加者:106名 (オンライン:84名、 会場参加:22名) 【内訳】 障害:70名 高齢:15名 児童:16名 教育:3名 地域:2名
12月17日	新任研修 ブラッシュアップ研修	「国分寺市における生活保護事務」 講師:藤川浩彰氏(国分寺市福祉部 生活福祉課 相談支援係) 生活福祉課の業務内容、生活保護制度について、扶助の種類、手続きの流れ等の知識を深めることを目的として、研修を実施した。	・市内相談支援事業所	参加者:11名
12月22日	ネットワーク研修Ⅰ (地域移行)	「地域移行支援 in 国分寺」 ～地域移行支援ワーキンググループ活動開始報告～ ①東京都精神障害者地域移行体制整備支援事業から考える現状と課題 講師:津川孝治氏 (都立多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課 地域体制整備担当) ②東京都地域移行体制整備支援事業から見た国分寺市の退院促進について 講師:毛塚和英氏 (地域生活支援センタープラッツ 東京都地域移行コーディネーター) ③国分寺市障害者地域自立支援協議会 精神保健福祉部会からの報告 報告者:伊澤雄一氏 (国分寺市障害者地域自立支援協議会 精神保健福祉部会長 /社会福祉法人はらからの家福祉会 総合施設長) 精神保健福祉部会において、国分寺市での地域移行支援を推進・促進するために、地域移行支援ワーキングチームが発足したことを受け、市内の支援者と、東京都の地域移行体制整備支援事業の現状と課題を共有するとともに、ワーキングチーム発足の経緯と今後の取組について報告・共有し、地域移行支援を具体化することを目的として、研修を実施した。	・市内相談支援事業所 ・医療関係者 ・市内サービス提供事業所 ・行政機関	参加者:11名 【内訳】 障害:3名 医療:1名 行政:7名
2月10日	ネットワーク研修Ⅲ (児童)	「自分でいい(自己肯定感)を高める関わり」 ～子どもを尊重する、子どもを知ってどうということ?～ 講師:角田みすゞ氏 (一般社団法人 童Takamura協会 代表理事 臨床心理士/公認心理師) 子どもも支援者も、皆が「自分でいい」と思える、自己肯定感を持てる関わりへの学びを通して、子どもの理解を深める共通の視点を養い、分野を超えてともに学ぶことで、実際の支援において連携・協力し合える支援体制の構築を目的として、研修を実施した。	・相談支援事業所 ・児童発達支援事業所 ・放課後等デイサービス事業所 ・学校及び教育関係者 ・保育園、幼稚園、学童 ・行政機関	オンライン研修 参加者:23名 (オンライン:23名) 【内訳】 障害:9名 児童:12名 行政:2名